Linux 版起動 CD

「バックアップ」「復元」操作ガイド

このガイドでは Linux 版起動 CD での「バックアップ」と 「復元」方法をご案内します。

バックアップ先に「ネットワーク ドライブ」を使う時は、 「ネットワークの構成」の設定を先に済ませて下さい。 (「ネットワーク構成」設定ガイドをご覧ください)

「コピー」については別の操作ガイドをご覧ください。



CD 起動してメイン画面を表示します。ソフトによって画面ロゴやメニュー名などが異なります。

IB イメージ バック	<u>アップ</u>
LB Image Backup	Backur Sparason Hard Disk Manager 12
	(イブまた 効になる (は「パー (実行した) (操作を指 ができま) ● コー Parason Hard Disk Manager (実行した) (学行します、 すべてのドライブ(WF5を含む)は、すでに C: D: Erなどのドライブ文字でマウント されます。 ドライブからCD-ROMを取り出すことが可能 です。
 ジジン ネットワーク構成 ジン ログ セーバー ジン CD/DVDの取り出し 	 □ 抹消ウィザード ● エクスブレス リサイズ ● ファイル転送ウィザード
 C:、 コマンド ライン 原設 再起動 () 電源を切る 	
	レーマンドライン www.paragon-software.com

LinuxCD 起動すると、以下のメインメニューが表示されます。

	メイン画面メニュー解説
製品名	操作画面を表示して、各種操作を行うことができます。詳細な
	操作を実施するときに使用します。
クイック復元ウィザード	ウィザードを使用して「復元」操作をすばやく行います。
シンブル復元ウィザード	
ワンクリック ウィザード	ウィザードを使用してハードディスクを自動「コピー」します。
ワンボタン コピー	
ファイル転送ウィザード	ハードディスク上の実データ、およびバックアップ イメージを
	展開してファイル単位で復元したデータを、HDD に書き出す
	事が出来ます。
ブート コレクタ	OS 起動時の問題を修復することができます。起動後に問題
	が発生した場合に利用します。実行するとツール内のヘルプ
	が参照できます。
ネットワーク構成	ネットワーク ドライブにアクセスする場合には、このツールを
	使用して必要な設定を行います。
ログセーバ	ログを取得することができます。問題が発生した場合には、問
	題の報告と一緒に取得したログをサポートセンターまでお送り
	ください。
CD/DVD の取り出し	CD/DVD を取り出すことができます。
再起動	コンピュータを再起動します。
電源を切る	コンピュータの電源を切ります。

ソフトによって、機能メニューが増える事や、上記メニューが存在しない場合があります。

バックアップする

す。

メイン画面から「製品名」を指定して「操作画面」に進みます。

■どこをバックアップするか指定します

バックアップ先がハードディスクの場合

ŀ	-般(0) 表示(⊻) ハード	ディス	スク(<u>S</u>) パ・	ーティション	(<u>P</u>) 操作(<u>0</u>)) ウィザード(<u>1</u>)	ヘルプ(i)		
	タスクを選択		-シック ディスク C: NTFS [ラ・ -シック ディスク E: NTFS [ラ・	0 (VMware ' ベルなし] 1 (VMware ' ベルなし]	Virtual IDE Virtual IDE	Hard Drive) - 8. Hard Drive) - 16	0 GB .0 GB	D: NTFS [:	ラベルなし]	
	<		->>> = = = = = = = = = = = = = = = = = =	0 種類 ク 0 (サイズ 基本	モデルVMwar ファイルシ 8.0 GB) MTES	e Virtual IDE H マステム サイズ 4.9.GB	ard Drive、 【使用済み 2.5.GB	サイズ8.0 空き 2.4.GB	GB ポリュームラベル [ラベルなし]	· アクティブ
	保留中の操作 <保留中の操作なし>	1 2	D:	拡張 論理	NTFS	3,1 GB 3,1 GB	4.6 MB	3.1 GB	[ラベルなし]	いいえ 身
	1つ元に戻す									
	すべて元に成す	<				ш)	>
L	词题		'TAB' また	-Lt 'Shift-T	AB'キーでカー	ソルが移動し、AI	++文字 まだ	-Lt 'E9' 7	メニューが表示され	います.

パーティションの復元

パーティションのコピー

表面の再テスト ファイルシステムの整合性をチェック 削除パーティションの復元...

フォーマット.. 削除...

アンマウント

変更

表示/編集

プロパティ

パーティションの参照

TAB'または'Shift-TAB'キーでカーソルが移動し、Alt+文字 または'F9'でメニューが表示されます

Alt-R

Alt-C

Alt-N Alt-F Alt-D

F3

Ctrl-F4

Alt-Enter

ラベル アクティ

し] はい

いいえ

LI

-般(<u>G</u>) 表示(V) ハードディスク(S) パーティション(P) 操作(<u>0</u>) ウィザード(<u>1</u>) ヘルプ(<u>H</u>)

ーシック ディスク 0 (VMware Virtu C: NTFS [ラベルなし]

N ポリューム 種類

2 D:

「イスク 1 (VMware V

(*) ジックディスク 0 (サイズ 8.0 GB)
 0 C: 基本 NTFS

拡張 論理

▼ モデルVMwar

ファイルシ

NTFS

タスクを選択

N - ティショ
 パーティショ
 ブロパティ

保留中の操作

1つ元に戻す

〈保留中の操作なし〉

操作画面が起動します。接続されているハ ードディスク、パーティションが確認できま

バックアップしたいパーティションを選択し、 右クリックしてメニューから[パーティション のバックアップ]を選択します。

ハードディスクをバックアップしたい場合に はハードディスクを選択し、[ハードディスク のバックアップフを選択してください。

パーティションのバックアップ(パーティション0 'C:' 🔀
一般詳細
圧縮レベル 高速 マ 高速(イメージ サイズがかなり大きいが、)
速度は十分に高速) 推定バックアップ イメージ サイズ: 1.4 GB
/ バックアップの保存先
ファイル名: /mnt/disk/hda5/Img_0_C.pbf 保存先で利用可能な領域: 3.1 GB
バックアップ キャンセル

■バックアップ先を指定します

ダイアログが表示されます。バックアップ先を指定する ために、「バックアップの保存先」の 🛄 参照ボタンを クリックします。



 1 保留中の操作 変更を適用しますか?
 確認画面

 はい
 いいえ

確認画面が表示されます。[はい]をクリックすると、バックアップが 実行されます。

進捗情報					
操作リスト:		サ.	ブ操作の進行状	況	
1: パーティションまたはディン					
	操作の進行状況				
	経過時間:	00:03:51	残り時間:	00:04:42	
	コピー済み:	1.0 GB	読み取り	1.0 GB (13.5 MB/s)	
	残り:	1.2 GB	書き込み:	1.0 GB (14.8 MB/s)	
		ź	と体の進行状況	2	
「バックアップ イメージ サイズは約2288 MBです フィイルへのバックアップ ディスク0://mnt/disk/hdb1/disk/lmg_D0.pbf 基本パーティション0 (ディスク0) をファイルにバックアップ://mnt/disk/hdb1/disk/lmg_D0_0000 クラスタ ビットマップを取得しています データを書き込んでいます					

操作リスト サブ操作の進行状況 1: パーティションまたはディン 操作の進行状況 00:07:45 残り時間: 経過時間: 00:00:00 10.0 MB 読み取り: 10.0 MB (10.0 MB/s) コピー済み: 書き込み: 10.0 MB (10.0 MB/s) 全体の進行状況 クラスタ ビットマップを取得しています データを書き込んでいます 論理パーティション0(ディスク0)をファイルにバックアップ:/mnt/disk/hdb1/disk/lmg_D0_00 クラスタ ビットマップを取得しています データを書き込んでいます パーティション情報を再構築しています すべての操作が終了しました 閉じる

<u>一般(G</u>) 表示(⊻) ハード:	ディスク(§) パーティション	(<u>P</u>) 操作(<u>0</u>) ウィザード(<u>1</u>)	ヘルプ(<u>H</u>)	
タスクを選択	へ -シック デ イスク 0 (VMware)	Virtual IDE Hard Drive) - 8.	0 GB	
▶ パーティションのバー	C: NTFS [ラベルなし]		D: NTFS [=	ラベルなし]
🖏 パーティションの参照				
🐶 パーティションのコレ	999 τ 429 1 (Wilware V	/irtual IDE Hard Drive) - 16	, 0 GB	
📢 フロパティ	E. MITS [J. SAVA C]			
	ヘ´ −シック テ´ ィスク 0	モデルVMware Virtual IDE H	ard Drive、サイズ8.0	GB
	N ポリューム 種類	ファイルシステム サイズ	使用済み 空き	ボリュームラベル アクティブ
< >	ベーシック ディスク 0 (サイズ	8.0 GB)		Emission and the second
保留中の操作	0 C: 基本 1 拡張	NIFS 4.9 GB 3 1 GB	2,5 GB 2,4 GB	[ラベルなし] はい
〈保留中の操作なし〉	2 D: 論理	NTFS 3.1 GB	4.6 MB 3.1 GB	[ラベルなし] いいえ
				A
1つ元に戻す				
すべて元に戻す	<	ш		>
道用	'TAB' または 'Shift-T/	AB'キーでカーソルが移動し、AI	t+文字 または 'F9' で	メニューが表示されます。

バックアップが開始され、処理の進行状況が表示さ れます。

すべての操作が終了したら、[閉じる]ボタンをクリック します。

> LB イメージ バックアップのメイン 画面に戻ります。

以上で、バックアップ操作は完了です。右上の×をクリックして、LB イメージ バックアップを閉じます。

バックアップ先が CD/DVD の場合

ハードディスク全体のバックアップをしたい時



バックアップしたい「ハードディ スク」を指定し、右クリックして [ハードディスクを CD/DVD に 書き込む]でハードディスク全 体のバックアップが可能です。

パーティション単位のバックアップをしたい時



バックアップしたい「パーティ ション」上で右クリックして[パ ーティションを CD/DVD に書 き込む]でパーティション単位 のバックアップが可能です。

※ ドライブ文字は Windows と一致しません。パーティションの配置とサイズでバックアップ対象 のパーティションをご確認ください。

ハードディスクのイメージの書き込み 0 🛛 🔀
一般詳細
┌ 圧縮レベル ─────
通常
通常(イメージ サイズは適切で、 速度は平均的)
推定バックアップイメージ サイズ: 2.7 GB
┌──ディング速度 ────────────────────────────────────
自動 🗸
· バックアップイメージのコメント
マァイル名: IMG_D0
CD/DVDドライブ: 1: CDドライスエミュレマ
書き込み キャンセル

「書き込み」ボタンを押します。

元の画面に戻ったら「適用」ボタンを押します。

画面の指示に従い、複数枚のバックアップとなる時はディス クを入れ替えてください。

- ※ Linux 版で CD 起動して CD/DVD にバックアップした場合は、作成された CD/DVD から起動 することはできません。復元時には Linux 版 CD で起動して[復元]を実行してください。
- ※ 複数枚のディスクにバックアップするときは、バックアップ単位によって、復元時に最初に読 み込ませるディスクが異なります。バックアップ時に通し番号を付けて管理して下さい。

バックアップ先がネットワーク ドライブの場合

基本的な手順は『ハードディスクにバックアップする』と同じになりますが、バックアップを実行す る前に『ネットワーク ドライブのマウント(割り当て)』を行っておく必要があります。設定方法は、 別紙『ネットワークの構成の設定』を参考にしてください。



バックアップの保存先を指定する画面では、『/mnt (マウントされているリソース)』を選択します。



事前にマウントした(割り当てた)ドライブが表示され るので、ドライブ内のバックアップ先フォルダを指定し、 ファイル名部分に半角英数字で名前を付けて「保存」 ボタンを押します。

名前を付けなければ自動的に Img … .pdf のファイルが作成されます。

ハードディスクのバックアップ 0 🛛 🔀
一般詳細
- 圧縮レベル
通常 (イメーシ サイスは通切で、 速度は平均的)
推定バックアップイメージ サイズ: 40.6 MB
バックアップイメージのコメント
ハードディスク ③ ハードディスク ○ MBR ○ 第1トラック
- バックアップの保存先
/mnt/PANDORA/test02/lmg_D0.pbf
保存先で利用可能な領域: 1.87 TB
パックアップ キャンセル

保存先がネットワーク先のルートとなった事を確認して「バッ クアップ」ボタンを押します。

元の画面に戻ったら「適用」ボタンを押してバックアップを実 行します。

復元する

CD 起動してメイン画面を表示します。ソフトによってメニュー名が変わる事がございます。

※ネットワーク ドライブから復元を実行する場合は、起動直後に『ネットワーク ドライブのマウ ント(割り当て)』を行っておく必要があります。設定方法は、別紙『ネットワークの構成の設定』を 参考にして下さい。

[クイック復元ウィザード]または[シンプル復元ウィザード]等をダブルクリックします

IB イメージ バックアップ	
Inage Backum バーティションのバック 保存を実行することができ ドライオまたはパーティ マンクリック ウィザード ワンクリック ウィザード ワンクリック ウィザード ワングリック ウィザード ワングリック ウィザード ワングサード ワングサード ワングサード ロの律作者指示に従って ロの律作者指示に従って	Separason Hard Disk Manager 12
 マートコレクタ ネットワーク構成 ログセーバー ログロ/DVDの取り出し 	Paragon Hard Disk Manager 簡単な操作でハードディスク/パーティションを復元します。 シンプル復元ウィザード ングパルFSを含む)は、すでに C:、D:、Eiなどのドライブ文字でマウント さます。 アンボランコニ ドライガからCD-ROMを取り出すことが可能 です。
 こ、コマンド ライン 読 再起動 ご 電源を切る 	 □ 株通ワイサード □ エクスプレス リサイズ ● ファイル転送ウィザード ● ブートコレクタ
	 ジーク構成 ログセーバー ジーの/DVDの取り出し コマンドライン
	www.paragon-software.com

メイン画面の[復元ウィザード]ではウィザードを「完了」すると復元が自動的に実施されます。

📆 test2 [実行中] - Oracle '	🔀 test2 [実行中] - Oracle VM VirtualBox				
仮想マシン ビュー デバイス ヘルプ					
<u>一般(G</u>) 表示(V) ハード:	ディスク(片) パーティション(P) 変更(点) 👩	<u>ヮィザード(1)</u> ヘルプ(<u>E</u>)			
	 ペーシック ハードディスク 0 (VB0X HRD) * 空き ペーシック ハードディスク 1 (VB0X HRD) D NFS ※ NFS ※ ボリューム 種類 ファイルシスオ ペーシック ハードディスク 0 (サイズ S * 基本 空き 	スクレビン (マンビ) ハードディスクのコピー ワンボタンコピー ウィザード バックアップ ウィザード 第元ウィザード エクスプレス リサイズ ウィザード ファイル転送ウィザード ブート コレクター ネットワーク構成	- <u>3</u>		
	<.	и	8		
间用	'TAB' または 'Shift-TAB'キーでカーソル	が移動し、Alt+文字 または 'F9' でメニュ・	ーが表示されます。		
		90000	🕽 👩 💽 Right Control		

メイン画面から[製品名]を指定して操作画 面に進み、メニュー「ウィザード」から「復元 ウィザード」でも復元可能です。

こちらから実施した時は、ウィザード「完了」 後、「適用」ボタンを押して、復元を実行して ください。

■どのイメージから復元するか、イメージを指定します

バックアップ先がハードディスクやネットワーク ドライブのとき



バックアップ先が外付けハードディスクの時は、(NTFS, 0 on <u>ディスク1</u>) が外付けハードディスク を意味します。こちらを選択して「開く」を押します。 ネットワークの場合は「マウントされているリソース」へ進みます。



ハードディスク内のデータが表示されますので、最終 的にバックアップ イメージファイル イメージ名.PBF を選択し、[開く]をクリックします。

バックアップ先が CD/DVD のとき



バックアップイメージを選択	X
探す場所: IDE CD/DVD (VBOX CD-ROM) (/media/cdr⊻	 E
 I disk, pbf I MG_D0, PBF 	
(/media/cdrom_ndc): VBUX CD=RUM	
ファイル名: disk.pbf	
タイプ: バックアップイメージ ファイル (*.p ♥	キャンセル

バックアップイメージを選択

探す場所:

タイプ:

IMG_1_D, PBF

IDE CD/DVD (VBOX CD-ROM) (/media/cdr 🖌 💌 主

バックアップイメージ ファイル (*.p 💙 キャンセル

ハードディスク全体のバックアップ時

「disk.pbf」を指定し「開く」をクリックします。 複数枚の CD/DVD にバックアップした時は、復元 開始後、画面の指示に従い、1 枚目に入れ替えて 復元を進めます。

パーティションのバックアップ時

「IMG_….PBF」を指定して「開く」をクリックします。

複数枚の CD/DVD にバックアップした時は、復元 開始後、画面の指示に従い入れ替えて復元を進 めます。

■復元を実行します

(/media/cdrom_hdc): VBOX CD-ROM ファイル名: IMG_1_D.PBF

イメージの指定後の「復元」手順				
-ντ(!!)	夜元する対象 復元する対象 復元に使用するバックアップ イメージを選択してください。 イメージの選択 「mt/disk/hdb1/ディスク全体/ディスク全体.PBF 振行するには、[次へ]をクリックしてください。 〈戻る(B) 次へ(N) 〉 キャンセル	「イメージの選択」にイメージ名が記載されたら、 [次へ]をクリックします。		

X

R

取り出し

開く



バックアップ イメージの内容が表示されます。内 容を確認し、[次へ]をクリックします。

復元ウィザード							
復元先を指定します。							
ペーシック ハードディスク 0 (VBOX HARDDISK) - 931 GB 1: 堂き							
ベーシック ハードディスク 1 (VBOX HARDOLSK) - 931 GB C: NTFS							
ベーシック ハードディスク 0 🛛 モデルVBOX HARDDISK、サイズ931 GB							
N ボリューム 種類 ファイルシステム サイズ ボリューム ラベル アクティブ 非表							
ベーシック ハードディスク 0(サイズ 931 GB)							
0 *: 基本 空き 931GB いいえ い							
< 戻る(<u>8</u>) 次へ(<u>1</u>) > キャンセル							

復元先を指定します。先ほど選択したバックアップ イメージはハードディスク全体のバックアップ イメ ージになりますので、復元先のハードディスクを指 定し、[次へ]をクリックします。

選択したハードディスクのすべてのデータが削除され、復元されますので、ご注意ください。

2	復元ウィザード							
2	復元の機要 復元先を確認してください。							
	変更内容を表示 ベーシック ハードディスク 0							
	操作即のパーティション: *: 空き							
	操作後のパーティション:							
	稀行するには、[次へ]をクリックしてください.							
	< 戻る(<u>B</u>) 次へ(<u>N</u>) > キャンセル							

実行前と実行後のディスクの内容が確認できます。 問題がなければ、[次へ]をクリックして復元を開始 します。

操作画面内の「復元ウィザード」から実施した時は ウィザード「完了」となりますので、「適用」ボタンを 押してください。

進捗情報								
操作リスト:	サブ操作の進行状況							
1: パーティションまたはディン								
	操作の進行状況							
	経過時間:	00:00:41	残り時間:	00:05:31				
	コピー済み:	301.1 MB	読み取り:	370.0 MB (14.8 MB/s)				
	残り:	2.2 GB	書き込み:	370.0 MB (28.5 MB/s)				
11111								
ディスク0をファイルから復元:/mnt/disk/hdb1/ディスク全体/ディスク全体,PBF バックファブ イメージ ディスク全体_0000p.000 を開いています 基本パーティション0(ディスク0)をファイルから復元:/mnt/disk/hdb1/ディスク全体/ディスク全 データを書き込んでいます								
キャンセル								





メインメニューが表示されるので、ドライ ブから CD/DVD を取り出して、[再起動] をダブルクリックします。PC が再起動し ますので、復元状況を確認します。